

ポストゲノム時代の 森林バイオマスの評価・分析

— とても複雑な植物細胞壁について、
今何を見たいか、何が見えるか —

●プログラム

13:00 ~ 13:10 開会挨拶

今村祐嗣 (京都大学生存圏研究所 生存圏学際萌芽研究センター長)

13:10 ~ 15:10 基調講演

柴田大輔 (かずさDNA研究所)

ゲノム科学時代の植物バイオテクノロジー

太田大策 (大阪府立大学)

応用生命科学におけるメタボロミクス研究

中坪文明 (京都大学)

リグニンの化学構造の特徴

松本雄二 (東京大学)

リグニン化学構造と反応性および機能との関係

15:10 ~ 15:30 休憩

15:30 ~ 17:15 話題提供 —何を見たいか・どうやってみるか—

日尾野隆 (王子製紙)

遺伝子組換え技術は樹木バイオマス利用に貢献できるか

小山博之 (岐阜大学)

植物栄養学の立場から

後藤正和 (三重大学)

松阪牛と稲わらの分子構造

西谷和彦 (東北大学)

植物細胞壁構造の複雑さを生み出す細胞壁関連遺伝子群

杉山淳司 (京都大学)

セルロースマイクロフィブリルの本当の大きさは?

高部圭司 (京都大学)

リグニン生合成の現場

福島和彦 (名古屋大学)

ToF-SIMS を用いた細胞壁成分の分子マッピング

山田竜彦 (森林総研)

近赤外分光法 (NIR) の特性と形質転換樹木分析への応用

梅澤俊明 (京都大学)

ケイヒ酸モノリグノール経路の網羅解析

17:15 ~ 17:45 総合討論 —何が難しいか?—

連絡先: 京都大学生存圏研究所森林代謝機能化学研究室

611-0011 宇治市五ヶ庄 Tel: 0774-38-3625 E-mail: tumezawa@rishi.kyoto-u.ac.jp

平成 18 年 6 月 30 日 (金)

生存圏研究所 木質ホール 3 階

宇治市五ヶ庄 京都大学 宇治キャンパス

入 場 無 料 事 前 登 録 不 要

